

■「南海100駅自慢」のオンリーワントレイン運行開始!

南海電鉄では、ブランドスローガン「愛が、多すぎる。」を掲げて南海電鉄エリア、南海電鉄グループのブランドイメージ向上を図るプロモーションを展開しており、その一環として**南海電鉄全駅(100駅)が主役となる駅貼りポスター「南海100駅自慢」を2015年6月から順次製作を開始。**

2016年1月8日~1月31日までの間、製作してきたポスターを車内ジャックで掲出する「オンリーワン」トレインが運行される。

また同時に、宿坊での精進料理などが楽しめる高野山日帰りペアプランや、駅近くのカフェで使えるカフェ券、地酒といった紹介駅ならではの商品などが抽選で100人に当たるクイズキャンペーンも実施されています。

▼オンリーワントレイン使用車両・・・南海本線、空港線、和歌山港線を運行する1000系 1編成
高野線(難波~橋本間) 泉北高速(中百舌鳥~和泉中央間)を運行する、1000系 1編成

■大阪にホテル計画が目白押し! 爆買い対応か!?

カンデオ・ホスピタリティ・マネジメントは、**2017年夏、東心斎橋に「カンデオホテルズ東心斎橋」**をオープンする。運営を手掛ける同社は、2005年に創業され、国内で建設予定も含めて20棟3,628室の規模で2012年に「**選ばれるホテルビジネスパートナー6500人に聞いた、ホテル満足度ランキング**」の**ビジネスホテルランキング部門で1位に輝いている。**

カンデオホテルズ東心斎橋は、大阪地下鉄堺筋線、長堀鶴見緑地線の長堀橋と大阪地下鉄堺筋線、千日前線の日本橋の間に位置しており、道頓堀にも近く、国内外からの観光客、カップル、ファミリーなど幅広い層をターゲットに据える。**地上17階建て、客室496室は、同社が手掛けるホテルとしては、最大規模。**最上階の大浴場に水風呂やサウナを完備する露天風呂を採用するほか、朝食には60品目以上の日替わり和洋メニューを提供する予定。外国人客を意識し、和モダンのデザインを採用する。

また中国最大の格安航空会社(LCC)の春秋を傘下に持つ春秋集団が、**今年中に大阪の2カ所でホテル運営の計画に乗り出すことが分かった。**日本で拠点としている、**関西国際空港周辺と大阪市内での開業を検討している。**急増する中国人観光客から航空便から宿泊まで一貫したサービスを提供する予定。大阪では、訪日客の増加により、府内の宿泊施設の稼働率が90%を超える月もあり、特に深夜早朝便の多いLCC利用者に便利な関空周辺と百貨店やブランドショップが多い大阪市内で逼迫している。春秋集団は、こうしたエリアでホテルを確保してより多くの中国人観光客を囲い込み、グループ会社を通じて、独自の旅行商品の販売やPRを行う考え。尚、春秋集団は、東京から大阪間の都市を中心に今後3~5年後で15~20カ所のホテルの開業を目指している。

■2016年、関西に新名所が続々誕生!

開業15周年を迎える「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」の新アトラクションをはじめ、日本最大級の鉄道博物館「京都鉄道博物館」、大リニューアル予定の「キューズモール」など2016年の関西は、新名所が続々誕生予定。

■2016年1月29日にEXPOCITY内の「オービィ大阪」がオープンし、**2016年春には高さ120m越の日本一の高い観覧車「OSAKA WHELL」も営業スタート**しこれでEXPOCITY内の8つ大型エンターテイメント施設がすべて出揃う。「オービィ大阪」では、地球上のさまざまなシーンを体験できるエキシビジョンと大迫力スクリーンでオリジナルストーリーを鑑賞できる。「OSAKA WHELL」では、日本一の高さに加え全72基を備え収容キャパも抜群で、23時まで営業するため、大阪の夜景が一望できる。

■2016年3月上旬に「あまがさきキューズモール」では(新規16店、移転・改装15店)を皮切りに、4月下旬にジャンル多彩な全74店が続々リニューアルオープンする。春から夏にかけて改装を実施する「あべのキューズモール」は施設の核となる「SHIBUYA109 ABENO」のテナントを含め、全体の約250店のうち4割に当たる約100店の大規模リニューアルが行われる

■2016年3月下旬に、**開業15周年を迎えるユニバーサル・スタジオ・ジャパン。**記念イヤーとなる今年には「RE-B0000000N(リボーン)！さあ、やり過ぎよう、生き返ろう。」を掲げ、テーマパークの概念を覆す新展開を続々と予定。その第1弾として、最新悦コースター「ザ・フライング・ダイナソー」がジュラシックパーク内に誕生する。

■2016年4月29日に**京都市下京区に「京都府鉄道博物館」**がオープンする。2015年に閉館した「梅小路蒸気機関車館」を取り込む形で、日本最大級の鉄道博物館が開業される。広大な空間には、0系新幹線といった日本を代表する車両に加え、先頭車だけではなく、中間電車や、食堂車など技術的、歴史的に重要な中間車両も多数収蔵する。さらに、梅小路蒸気機関車館で好評だった、SLスチーム号も健在。本物の蒸気機関車が牽引する客車に、毎日乗車できる貴重な体験展示なども行われる。

■京都に「蔦谷書店」初出店。スタバ併設、レンタルサービスも!

2016年1月11日に**京都市左京区に「京都岡崎 蔦谷書店」**がオープンした。運営はCCC(カルチュア・コンビニエンスストア・クラブ)。旧京都都会館をリニューアルしたロームシアター内のパークプラザの一角にオープンした同店は、「生活提案型」店舗として、梅田や浦和に次ぐ6店目で、京都エリアでは、初出店となる。併設するコーヒー店の「スターバックス」やテラス席でも雑誌や書籍を読むことが出来るサービス「Book & Café」を提供する。店では「アート」「日本の暮らし」「ON JAPAN」の3つのジャンルを展開。書籍で紹介されている京都の器を販売するほか、地元の職人が手掛けた伝統工芸品を扱う「Gallery EN」を設け、伝統的なものづくりを発信する。

〈交通 アクセス〉

京都駅から京都市バスで[京都美術館前](約30分)、下車後徒歩8分、京都市営地下鉄東西線[東山駅]から徒歩8分。蔦谷書店としては、全国初事例となる電動アシスト自転車のレンタルサイクルサービスも展開する。日本で100台限定という電動自転車や子供が乗せられるタイプなど、全3種類14台を用意する。

▼中吊 紀伊清水



▼カンデオホテル東心斎橋 ※完成イメージ図



▼ユニバーサル・スタジオ・ジャパン 15周年イラスト



▼京都鉄道博物館 ※本館完成イメージ図



▼京都岡崎 蔦谷書店



▼蔦谷書店 店内

